

札幌市立札幌北中学校
学校だより 第6号 (553号)
令和6年12月25日 発行

躍動

札幌市東区東苗穂
10条3丁目16-20
TEL 011-791-1190

2学期終業式に寄せて

校長 美田 学秀

学校祭や合唱コンクールを通して、学級として学年として大きな躍動を感じた2学期も、今日で終わりを迎えます。12月に入り、全学年合同で「学年を向上させるキャンペーン期間」が設定され、さまざまな掲示物で取組の様子が紹介されていました。毎日の掲示物の変化によって、皆さんの生活の様子が想像でき、とても分かりやすい活動であったと思います。おそらく、各委員会や学級で「リーダー」となっている人たちが、学級への呼びかけや点検などで活躍をしていたことと思います。

「リーダー」と聞くと、何か特別な存在に思えるかもしれませんが、人生の中でほとんどすべての人は、何らかのグループのリーダーを経験します。会社でいうと「部長」「課長」「係長」などの「長」のつく役職は、いずれもグループのリーダーです。また、家庭をもったときには、当然家庭内のリーダーとして家族のことを考えて、大切な決断と行動をしていかなければなりません。

そのように考えると、中学校時代にリーダーの役割を務めることは、将来にとっての良い経験になります。部活動での「部長」、学級の「班長」、宿泊する行事での「室長」、行事での「PJ長」など、リーダーとして活躍する場面が学校生活にはたくさんあります。「リーダー」としての経験や、「リーダーを支える人」としての経験を、学校生活で積み重ねてほしいと思います。

さて、話は変わりますが、雪が降るようになってから朝の玄関前では、友人同士でカバンに積もった雪をほろい合っている場面を目にするようになりました。カバンに雪が積もったまま校舎内に入ると、廊下などが濡れてしまう場合があります。それにより「滑って転ぶ」などの危険性があることから、「校舎内に雪を入れない」というのは大切なことです。そのことを意識して、自主的に雪をほろい合っている人がたくさんいたことが、とてもうれしく思います。

2学期は、小学生を助けてあげたことへの感謝の電話が何度か入るなど、皆さんの優しさが他人を幸せな気持ちにしたことが何度かありました。また、登校時間にさわやかな挨拶をする人も増えてきました。冬休みはお正月に久しぶりに会う親戚もいると思います。そのときに「成長したな」と思われるような、素敵なあいさつを意識してみてもいいでしょうか。

1月15日の始業式には、また皆さんの気持ちの良い「おはようございます」を聞けることを楽しみにしています。

【冬季休業中の転送電話設定について】

12月26日(木)～12月27日(金)	8:00 転送解除	16:45 転送設定
12月28日(土)～1月7日(火)	終日	
1月8日(水)～1月10日(金)	8:00 転送解除	16:45 転送設定
1月11日(土)～1月13日(月)	終日	
1月14日(火)	8:00 転送解除	16:45 転送設定

【冬休み以降の転送電話設定について】

完全下校等で全校生徒が下校する日は、下校完了後30分をめぐりに転送電話に設定させていただきますので、ご承知おきください。

【冬季休校日について】

札幌市教育委員会では、全国的な課題となっている教職員の長時間勤務等への対応策として、冬休み期間中において「冬季休校日」の取組を実施いたします。これに伴い本校では、年末年始の休日と連続して、1月6日(月)～1月7日(火)までを休校日とさせていただきます。年明けに学校に連絡がつくのは1月8日(水)からとなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、冬季休校日の取組につきましては、札幌市教育委員会 教職員課労務係(211-3855)にお問い合わせください。

響くハーモニー！合唱コンクール開催

10月25日（金）に合唱コンクールが開催されました。今年度は保護者の方々に加え、発表学年以外の生徒たちが体育館で鑑賞することができ、生徒たちは多くのことを学ぶことができました。金賞を受賞した学級の生徒たちの作文から、取組の様子をお知らせします。

1年8組 阿部 のぞみ

最初はあまり声を出せていなかったけれど、色々アドバイスをもらったり教えてもらったりして、声が出せるようになった。みんなと協力することでみんなの良いところが見つかったと思うし、他の行事でも周りとの協力して団結できるようになったと思う。本番では、人が少なかったけど練習より大きい声が出せたと思う。今回の合唱コンクールで身に付けたことは来年からも生かせると思うから、みんなと協力したり、声を出して歌ったり、自分の意見をしっかり言うこと、みんなの良いところを見つけること、より良くするために努力することを忘れずに生活していきたい。

1年9組 小平 美珠

最初は6分もある曲で少し不安でしたが、練習をしていくうちにだんだん上手くなっていて、さらに強弱もつけられていて、本番ではみんな一人一人の歌声が一つの合唱となってゴールド金賞を取ることができたと思った。合唱コンクールを通してクラスの目標であった「互いに協力、助け合い、一致団結できるクラス」という目標は達成できたんじゃないかなと思った。自分としてもとても成長ができた行事になった。

2年1組 上田 悠理

自分は合唱コンクールでは合唱PJ長として合唱を行いました。クラスをまとめることなど苦手なことはありましたが、先生や友達の協力のおかげで最後まで終えることができました。合唱コンクールを通して一番いいと思ったのは、一人一人が意見を出し合い、最後の方はやる気を出し、目標に向かって一生懸命がんばっていたのは素晴らしいと思いました。2年1組のクラスメートとして金賞を取れたことを大いに誇りに思います。クラスのみんなにありがとうと言いたいです。

2年7組 藤原 心春

7組で合唱コンクールの「時を越えて」の伴奏者として活動をして、とても楽しかったし、伴奏の良さを味わえました。なぜなら、みんなが一人一人声を出して、「どこを良くすればもっと良くなるのか」「どうしたら伝わるか」を一生懸命考えてクラスで団結している姿を見ていると、自然に「みんなの歌をよく目立たせられるような伴奏が弾きたい」「私もがんばらなくちゃ」と思えたし、そのために歌のポイントと合わせて弾く力もついたからです。そして、本気で挑んで金賞をもらえて、みんなとがんばった時間の大切さが分かったし、とても楽しくて良い思い出になりました。

2年8組 中野 虹夢

初めての伴奏者で、「まちがえたらどうしよう」とか不安がいっぱいだった。それに今までは諦めてばかりだったし、やめたいと思うことが多かったけれど、今回の伴奏者はやめたいなどは1回も思わなかった。それは歌っている人が声を出して頑張っていたり音程を合わせたりして頑張っているところを見て、自分も頑張ろうと思うことができたからだ。みんなの努力しているところが自分の努力につながり、本番

でもミスのない最高の演奏ができた。そして8組の明るさやにぎやかさが声量に出て、クレッシェンドなどもできていて8組の良さを合唱で出すことができたからの金賞だと思った。8組、金賞おめでとう！

3年1組 大久保 颯那

最初は自分がパートリーダーになってまとめられるのかや、自分より歌が上手な人がいるのに自分なんかになっていいのか不安もありましたが、やっていくうちに他のパートリーダーに協力してもらいながら、どうやってみんなをまとめればいいのかを学ぶことができました。その他には、みんな最初はやる気のない人が多かったけれど、途中からは金賞という大きな目標に向かって一人一人が頑張っている姿を見て、とても嬉しく思いました。1つの目標に向かってみんなで協力することは、色々なことを学ぶことができるんだなと改めて感じることができました。学校行事はあと卒業式しかありませんが、卒業に向かって一人一人が楽しく最高のクラスだったなと思えるクラスにしていきたいなと心から思いました。

3年2組 大橋 ひなた

最初は曲が難しそうに感じたため不安でしたが、いざ歌ってみるとみんなで歌うことが楽しく、合唱練習の時間が楽しみになってきました。クラス全体で先生に怒られてしまうことが何回もあったけれど、その度に合唱は良くなっていった、本番ではみんなで力を合わせ最後までしっかりと歌い切り、金賞をとることができて本当に良かったです。1年生では中止になり、2年生では金賞を取れなかったのが、初めて金賞の喜びを味わうことができました。また合唱をやりたいと思うほど素晴らしい合唱コンクールになりました。

3年8組 二口 獅生

中学校生活最後の合唱コンクールがこの学級で、この曲で、しかも金賞を取ることができて良かった。本番までに少しの苦悩はあったけれど、全員で乗り越えることができて良かった。各パートリーダーや指揮者、伴奏者、そしてPJ長には感謝してもしきれないほど良い合唱コンクールにしてくれたなと再認識した。この経験を活かして残りの中学校生活、この学級で卒業まで切磋琢磨していきたいと思った。また、卒業した後も集団生活があると思うので、どんどん生かしていい生活にしたい。

3年9組 伊藤 里紗

1年生の時はコロナで中止、2年生の時に初めての合唱コンクール、3年生になった今、最後の合唱コンクールで1年、2年を体験しているからこそ、普通に運営して保護者も他学年も入れられることへ感謝できるなと思いました。一回も3年生の姿を見たことがなかったから、自分自身が歌うとき戸惑ったけれど、3学年の合唱を聞いて、3年生として胸を張れる素晴らしい学年だなと思いました。この学年で卒業式に歌を歌えることは幸せだと思いました。聞いているとき、この素晴らしい合唱がここにとどまらず、何年後、何十年先も札幌北中の伝説として残ってほしいと思いました。

